

引揚記念館が リニューアルオープンしました



▲展示室が全面リニューアル



▲エントランスホール(手前)とセミナールーム(奥)

9月28日、舞鶴引揚記念館がリニューアルオープン。引き揚げの史実を伝える貴重な資料を、より分かりやすく体感できるように展示しています。

《引揚記念館》



▲展示室入口

▼資料の検索システムを導入



◎利用案内

開館時間： 9時～17時
(入館は16時30分まで)
入館料： 大人300円、学生150円
(市内在住か在学の学生は無料)
休館日： 毎月第3木曜日

戦後70年・海外引揚70周年 平和祈念式典を開催

【日時】10月10日(土) 10時から
(受付開始9時30分)
【場所】総合文化会館
【内容】平和への願いを広く発信し、献茶や献花、また、市内の小・中学生、高校生による合唱や平和へのメッセージの披露などを行います。
【その他】招待者のほか一般の人でも入場が可能です。
▶詳しくは、文化振興課(☎66・1019)か引揚記念館(☎68・0836)へ。

同日11時から、引揚記念館において、舞鶴市文化協会の協力による呈茶と、舞鶴・引揚語りの会による引き揚げ当時の食(ふかしいもなど)の振る舞いがあります(先着100人)。

幼児教育の質の 向上に向け

文部科学省の
モデル調査研究の
採択を受ける



▲保育士や教諭による作業部会の様子

市が6月9日、文部科学省の「幼児教育の質向上に係る推進体制等の構築モデル調査研究」の採択を受けました。本調査研究は、自治体における幼児教育の推進体制、幼児教育に係る教職員の質向上などについて、全国のモデル的な取り組みを行う自治体などを文部科学省が公募していたもので、全国11団体のうちの1つとして選定されたものです。

市では、現在、「幼児教育ビジョン(仮称)」の策定に向け、保育者や教諭、保護者、関係団体の代表からなる「幼児教育ビジョン策定懇話会」を設置し、舞鶴らしい乳幼児教育のあり方や目指すべき方向について、広く意見を聞いているほか、保育者や教諭からなる作業部会を設置し、「育てたい子ども像」や「幼児教育・保育の実践で大切にしたいこと」などについて現場の思いや意見を懇話会に提案しています。

また、乳幼児教育の質向上のため、子どもを主体とした保育の実践や保幼小中の連携に向けた研修事業にも取り組んでいます。

0歳～15歳までを見通した乳幼児期の質の高い教育・保育の提供、小学校・中学校との連携・接続に関する施策を効果的に推進するなど、全国のモデルとなる取り組みを進めます。

《教育総務課・子ども育成課》

高浜発電所のPAZに準じる4地区 安定ヨウ素剤を事前配布

市と府では、国の原子力災害対策指針に基づき、8月26日～9月6日にかけて、PAZ(関西電力(株)高浜発電所から5km圏内)に準じた防護措置を行う地区(A-2ゾーン)にある大山・田井・成生・野原地区の住民に安定ヨウ素剤を事前配布しました。

4地区で開催した事前配布説明会では、府職員や中丹東保健所長(医師)が安定ヨウ素剤の効果や服用時期・量、副作用、取り扱いなどを説明。その後、保健師や薬剤師、医師による問診を行い、持



▲安定ヨウ素剤配布の様子(成生地区)

病やアレルギーの有無、薬の使用状況などを確認し、服用に支障がないと判断された人に安定ヨウ素剤を配布しました。

欠席などにより、今回の説明会で安定ヨウ素剤を配布できなかった人につきましては、後日、追加で説明会を開催し、配布する予定です。

▼安定ヨウ素剤に関するお問い合わせは、健康づくり・地域医療課(☎65・0064)へ。

▼原子力防災に関するお問い合わせは、危機管理・防災課(☎66・1080)へ。

安定ヨウ素剤とは

ヨウ化カリウムのことで、医療用の医薬品。原子力災害時に、安定ヨウ素剤を服用することで、甲状腺を安定したヨウ素で飽和状態にし、体の中に取り込む放射性ヨウ素の蓄積量を減らし、内部被ばくを抑える効果があります。